



## イーサネットの名前の由来

イーサネットという名称は、19世紀に、光や熱、電波を伝える媒体として宇宙に充満していると考えられた仮想的な物質 Ether が語源です。

ゼロックス社でイーサネットの原型が開発された後、インテル社とDEC社との3社で1979年にDIXという規格が生まれました。

## イーサネットの種類は？ ケーブルは？

以前は同軸ケーブルが多く使われていましたが、最近は主にツイストペアケーブルや光ファイバケーブルがイーサネットの主流です。

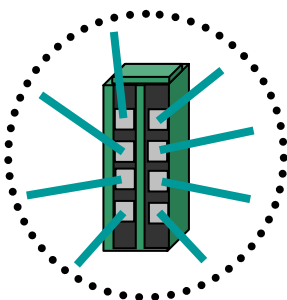
日本では、CAT5(5e)ツイストペアケーブルをつかったTX方式が主流ですが、CAT3ケーブルで100MBit通信可能な100 BASE-T4や100 BASE-T2というものもあります。日本ではCAT5ケーブルが多く普及したため、100 BASE-T4や100 BASE-T2は普及しませんでした。またツイストペアケーブルは、オフィス等で使用されているUTP(アンシールドツイストペア)ケーブルが多く使用されますが、ノイズ対策としてシールドのついたSTP(シールドツイストペア)というケーブルがあります。雑音規制の厳しい国ではUTPの使用を認めていないところもあります。

光ファイバは、プラスチック系やガラス系、石英系が主で、距離やコネクタ施工方法等で使用するケーブルが選ばれます。

## どうしてHUBと呼ぶの？

パソコンなどの端末を放射状に配線する際に、中心に位置するところから、**HUB**(車輪の中心)という名称になりました。

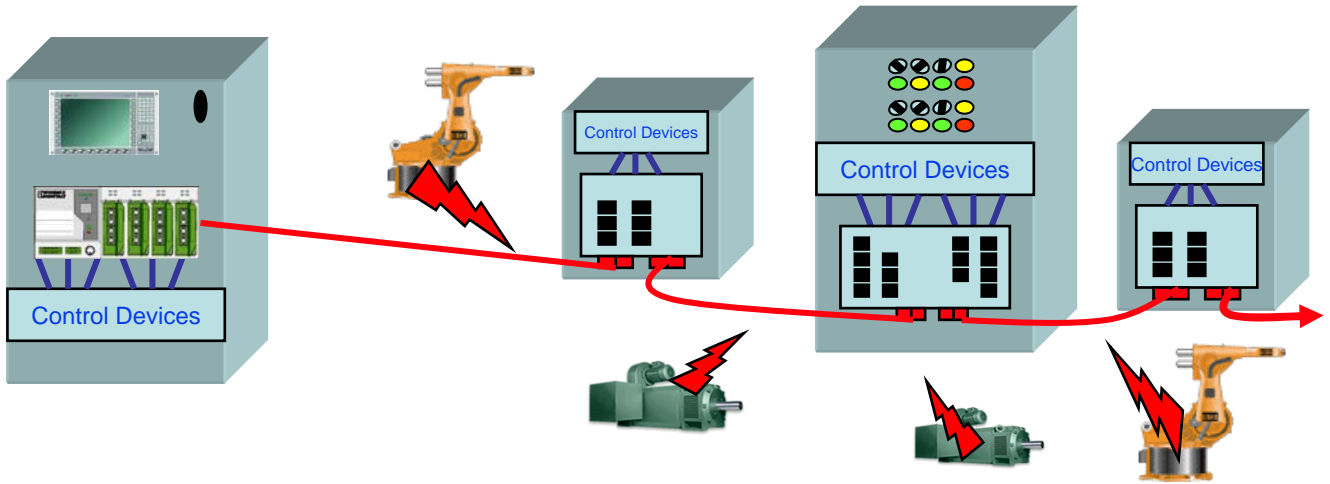
スイッチの機能がついていないHUBのことをリピータといいますが、HUBの内部で歪んだ波形の整形を行い、リポートするためにこう呼ばれています。



HUB?



## OA用と産業用のHUBの違いは？



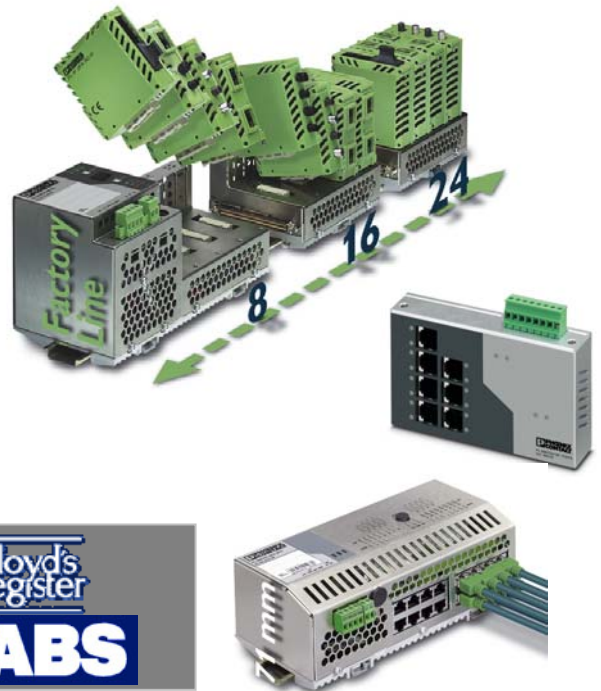
ノイズが多い場所で産業の要求に対応するため、OA用と比べてイミュニティを強化。温度もOA用と比べて高温に対応できます。またDINレール取り付け、DC 24 V仕様が標準、電源の二重化や警報出力を備えているものもあります。更に耐衝撃、耐振動、耐落下試験の基準をクリアしているものが普通です。

## 産業用途に最適なイーサネット機器

フェニックス・コンタクトの産業用イーサネット機器は、全て省スペース設計、設置場所に合わせた製品をお選びいただけます。全種DINレール取付が可能です。

もちろんDC24V仕様で電源の二重化や警報も標準装備。動作環境は0°C~55°Cまでお使いいただけます。またCE、ULをはじめとした規格に加え、船舶規格を取得した製品もありますので、幅広いアプリケーションに対応できます。

更にマネジメントスイッチと専用ソフトを使用すれば、ネットワーク上の機器を監視・診断することが可能になります。



GL(ドイツ船級)



(取得予定)



## フェニックス・コンタクト株式会社

横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜1丁目ビル6階  
 本社・営業部 Tel. (045) 471 0030 Fax. (045) 471 0031  
 大阪営業所 Tel. (06) 6838 3133 Fax. (06) 6838 3533  
 名古屋営業所 Tel. (052) 918 7211 Fax. (052) 918 7222  
 大宮営業所 Tel. (048) 631 3371 Fax. (048) 648 8651  
 福岡営業所 Tel. (092) 418 2030 Fax. (092) 476 8643

商品のお問い合わせは